

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】 注)「項目番号」の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。					
優先順位	項目番号	次のステップに向けて取り組みたい内容	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	36	認知症の理解をさらに深めていきたい。職員のメンタルケアと日々の健康チェックを行っていくとともに、日々の職員の言動とケアのあり方を検討していく。	認知症の理解をさらに深め、入居者様と一緒に楽しく過ごす。	<ul style="list-style-type: none"> 認知症についての勉強会や外部研修に参加する。 職員の困りごとやケアへの疑問などを相談しやすい環境作りを行う。 法人代表にカンファレンスに参加していただき、アドバイスを受ける。 	12 ヶ月
2	26	①「生活歴」「症状」「介助理由」「できそうなこと(有する能力)」「要望」等を介護サマリーやケアチェック表に記入し、介護計画2表に繋げるとともに、日々の実践者として「ご本人」という表現を増やしていく。 ②ご家族と密にケアプランの話し合いを行う。	アセスメントやケアプランの充実、ポジティブなプランの作成	<ul style="list-style-type: none"> カンファレンスでご本人ができること、できそうなことを話し合いプランに活かす。 ご家族からの要望や意見を聞き、ケアプランに活かす。ケアプランの説明を詳しく行う。 	6 ヶ月
3	35	①自然災害と感染症対策のBCPは作成済み。避難方法が一部変更になっているため、マニュアルを変更し、職員間で話し合いを行う。 ②運営推進会議等を活かして消防団との情報交換を行い、備蓄を含めた検討をする。	BCPのブラッシュアップと、職員全員での共有。備蓄品の充実。	<ul style="list-style-type: none"> BCPについての勉強会を開催し、職員全員で確認し情報共有を行う。 地元消防団との情報交換を行う。 備蓄品の不足分は購入するなど準備を進める。 	12 ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月